

岐阜県立岐阜工業高等学校

学校長 江口 健治郎

学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町1700 電話 058-387-4141

- 1 会議の名称 岐阜工業高等学校 学校評議員の会議 (第1回)
- 2 会議の構成 委員 岡島 佑亮 株式会社光製作所 総務部長
加藤 なるみ 地域住民代表
佐溝 勝樹 岐阜工業高等学校育友会会長
杉田 悦男 名古屋鉄道(株) 笠松駅駅長
種村 久子 地域住民代表
(委員名は五十音順)
- 学校側 江口 健治郎 校長
武藤 芳紀 副校長
洞田 浩 事務部長
棚橋 毅 教頭
加藤 信男 教頭
中西 竜也 教頭
藤本 幸弘 教務主任
後藤 慎二 生徒指導主事
前川 隆英 進路指導主事
草壁 善則 工業部長
- 3 会議の目的 学校運営等について、学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。
- 4 会議の開催 平成30年9月13日(木) 13:15~15:30
岐阜工業高等学校校長室等 評議員3人と学校側8人が出席
- 5 会議の概要
<校長室>
(1) 開式
・学校長挨拶
・委嘱書交付
・自己紹介
・日程説明
- <各教室・実習室>
(2) 授業参観
・モノづくり教育プラザ施設案内
・製図 (2年設備システム科)
・電子情報技術 (3年電子機械科)
・製図 (1年建設・デザイン工学科群)
- <校長室>
(3) 本校教育活動の概要説明
① 本校の教育について 教頭
② 学習指導について 教務副主任
③ 生徒指導について 生徒指導主事
④ 進路指導について 進路指導主事

- ⑤ 工業教育部の取組みについて 工業教育部長
- ⑥ 定時制の教育活動について 副校長

(4) 協議

岐阜工業高等学校に期待するもの、地域から学ぶこと

本校教育活動の概要

① 本校の教育について (教頭)

生徒一人ひとりが笑顔で登校し、安心・安全に活動できる学校づくりを目指している。活動の三本柱(ものづくり、資格取得、部活動)を通して、「岐阜工業で学んで本当に良かった」と皆が思ってくれる“満足度日本一”の工業高校づくりを目指すよう、職員にも呼びかけている。

今後、新たな学校づくりを模索する必要もあり、本校としても、一層地域の皆さんや中学生にとって魅力ある学校であり続け、岐阜工業高校の魅力を発信できたらと考えて、様々な意見やアイデアを議論している。

本日は、授業参観や協議においても忌憚のないご意見をいただけたらと思っている。よろしくお願ひします。

②③④⑤⑥に関して、各分掌長、副校長より資料説明。

学校に期待するもの 地域から学ぶこと

意見 1 ・パソコンでの授業で、以前と比べてだいぶ変わっていたので、驚きました。タブレットなどを使った授業は良い。
・今年は一昨年、昨年より生徒からの挨拶が良くなったと感じた。
・貴校のインターンシップを受け入れている。礼儀正しく行動されており、挨拶して頂いたのが良かった。感想を聞くと、中学校の方が厳しかったという意見もあった。

意見 2 ・社会で問題となっているパワーハラスメントについて、どのような認識をもっているか?潜在的なものが、本当に無いのか?

(回答)

7月に全県一斉の体罰に関するアンケートを行った。回答方法は学校提出、目安箱提出、県教育委員会に直接提出などだったが、体罰があるという意見はなかった。パワーハラもなかったと思われる。

学校アンケートの中に、生徒と保護者の満足度に違いがあるという部分は、保護者の中には、「体罰はない」という項目の中で、保護者の回答に「わからない」という部分が25%もあり、「わからない」という部分を、満足度に移行できれば良いと思っている。

・大学受験者の中で不合格者へのフォローはできていますか?

(回答)

第二希望なども受験し、ほとんどの者は合格した学校へ進学する。しかし、昨年度は残念ながらごく少数ではあるが浪人する生徒もいた。

学校としても、3年間通じて英語・数学等では進学補修をしてサポートしている。指定校についても、進学補修をして学力を上げている。

意見 3 ・今までと違う趣向の授業を参観出来ておもしろかった。一人一台のパソコンを使用して作業できるので、生徒も真剣に授業を受けていた。

・就職後、1年間での離職率はどうですか?

(回答)

毎年、卒業生を対象にハガキでのアンケートを行っているが、返答率があまり良くないので実際の離職率は不明である。

学校側 評議員の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。技術力に加え理解力も高めていかなければといった点など、学校のほうでも取り組んでまいります。本日は本当にありがとうございました。

6 会議のまとめ

今回（第1回評議員会）は、生徒の様子（実習や改題研究）を参観後、本校の教育活動の概要を説明し、意見、提言をいただいた。

本校教育活動に関してご理解をいただき、一層の活動の充実を期待されたが、学校生活で身につけた成果を如何に発信するかという点が、次の課題となる。

生徒自身が培ってきた能力を周りにしっかりとアピールできるよう、表現力や発進力を身につけ、将来地域や職場のリーダーとして活躍できるように学校として応援していきたい。また、中学生や地域の方が、本校に興味や関心を持ってもらえるよう、様々な教育活動の情報発信を工夫していきたい。